



はばたこう  
さらに10年後の南越前町へ

## 南越前町合併10周年記念

### 第23回

# はすまつり

7月4日、花はす公園で第23回はすまつりが開幕しました。

オープニングでは、テープカットとくす玉割り、南条龍神太鼓保存会の演奏が行われ、まつりの開幕を祝いました。

公園では130種類に及ぶ世界各国のハスが咲き誇り、県内外から訪れた観光客は、大輪の花をカメラに収めたり、ゆつくり鑑賞しながら花はす公園を楽しんでいました。

今年の注目品種のひとつは、猪による食害の影響から3年ぶりに復活した、韓国景福宮蓮(かんこくけいふくぎゅうれん)です。白地にほんのり薄い桃色がにじみ、品があり魅力溢れる蓮です。

はすまつりは、8月2日まで開催されており、週末には、合併10周年記念特別企画としてはすにちなんだ振る舞いや、恒例の家鼻杯、ステンドグラス作り体験などができます。



韓国景福宮蓮



### 第19回

# 河野うめまつり



6月21日、河野シーサイドパーク駐車場で河野うめまつりが開かれ、約2,500人が訪れました。

今年の梅は、平年に比べ実の成りは少なめでしたが、粒は大きく肉厚で良質な梅に育ちました。恒例の梅もぎ体験には、昨年の3倍の213人が参加されました。毎年楽しみに参加している方や、初めて家族連れで体験した方も、袋いっぱいを持ち帰り満足気でした。

また、会場イベントでは、河野産

の梅干しを試食してその種をどこまで飛ばせるかを競う「梅干しの種とばし日本海選手権」や、塗り箸を使いザルに入った青梅を隣のザルに1分間でどれだけ移せるかを競う「梅早つまみ競争」、大きさが不ぞろいな梅(アウトレット梅)の詰め放題が行われました。訪れた方々は、梅焼きそば、梅アイスなどの加工品、焼き鯖、焼きイカ、さざえなど河野の特産品を味わい、梅にちなんだ催しを楽しみました。

